



# 精密工学会九州支部ニュース

第 13 号

2007 年 1 月

## 目 次

- 1) 福岡地方講演会・第 7 回学生研究発表会 開催報告  
 【於：西日本工業大学デザイン学部】  
 ( 実行委員長 水垣善夫：九州工業大学 )
- ・ オープニングセッション  
 開催日：平成 18 年 12 月 2 日 (土)  
 講 師：山口 修司氏 (コンピュータエンジニアリング 株式会社社長)  
 題 目：ものづくりにおける日本の役割
  - ・ 福岡地方講演会  
 開催日：平成 18 年 12 月 3 日 (日)
  - ・ 特別講演会  
 開催日：平成 18 年 12 月 3 日 (日)  
 講 師：下河邊 明氏 (精密工学会会長・東京工業大学副学長)  
 題 目：薄膜金属ガラスとその三次元 MEMS への展開
  - ・ 第 7 回学生研究発表会  
 開催日：平成 18 年 12 月 2 日 (土)
- 2) 平成 18 年度精密工学会九州支部 総会 開催報告  
 開催日：平成 18 年 12 月 3 日 (日)

.....\*

## 平成 18 年度精密工学会九州支部

### 福岡地方講演会・第 7 回学生研究発表会 開催報告

実行委員会委員長 水垣善夫 (九州工業大学)

.....\*

平成 18 年 12 月 2 日 (土) に、精密工学会九州支部第 7 回学生研究発表会が、翌 3 日 (日) には福岡地方講演会が、北九州市小倉北区の西日本工業大学デザイン学部で開催されました。

2 日の学生研究発表会に先立つオープニングセッションでは、コンピュータエンジニアリング (株) 代表取締役社長 山口 修司殿に「ものづくりにおける日本の役割」と題して、最新動向をご紹介いただきました。3 日の福岡地方講演会においては特別講演として、精密工学会会長で東京工業大学の理事・副学長である下河邊 明先生に「薄膜金属ガラスとその三次元 MEMS への展開」と題して、最先端の研究成果をご紹介いただくとともに、学会誌・論文集の今後の予定についても説明をしていただきました。



【講師： 山口 修司氏】



【講師： 下河邊 明氏】



【特別講演会の様子】



講演会自体は、学生研究発表会 56 件、福岡地方講演会 61 件の発表があり、参加者 200 名弱と盛会のうちに無事終了することが出来ました。福岡地方講演会での発表を研究分野別に見ると、切削・研削関係 8 件、研磨・CMP・微細穴溝加工関係 14 件、計測・監視・画像処理関係 12 件、振動・制御・機構・アクチュエータ関係 9 件、金型・積層加工関係 5 件、CAE・品質工学・その他 13 件となっています。

【発表の様子（福岡地方講演会）】

また学生自身の運営により、学生研究発表会で 5 件のベスト・プレゼンテーション賞の選出と贈賞をすることができました。

下記 5 名の学生諸君（敬称略）に表彰状と記念品（名刺入れ）を贈りました。

- 荒牧浩一郎（九州工業大学：放電加工によるマイクロねじのねじ面作成）
- 植村正規（熊本大学：ガラス磁気ディスク基板の超平滑ポリシング特性の検討）
- 関岡優季（九州工業大学：超音波振動を用いた旋削加工の研究）
- 常政 慧（九州工業大学：複合多軸旋盤用 CAM システムの基礎研究  
- 構造による座標変換形式の分類 - ）
- 山本知稔（鹿児島大学：真空チャックを用いた薄板の超精密切削加工の高精度化  
- 樹脂多孔質体真空チャックの製作と機能評価 - ）

今後一層の精進を期待いたします。

今回、JR 西小倉駅すぐそばで非常に立地の良い西日本工業大学小倉キャンパスで開催することが出来ました。同大学の坂本正史学長に篤く御礼申し上げるとともに、中園汎教授を初めとする同大学教職員・学生諸氏、また実行委員会委員としてご尽力いただいた各位にも心より御礼申し上げます。

なお当日の参加登録に時間がかかるなど運営上の不手際があったことをお詫び申し上げますとともに、今後の反省点として次回の講演会実行委員長へ引き継ぎをいたします。

以上簡単ですが、実行委員長として福岡地方講演会・学生研究発表会の開催報告といたします。

平成 18 年度精密工学会九州支部 総会 開催報告

平成 18 年度精密工学会九州支部総会を開催し、事業報告・会計報告がなされ承認されました。

総会 次第

1. 庶務報告：第 45 期庶務報告（添付）
2. 会計報告：九州支部 2005 収支計算書（添付）  
九州支部 2005 貸借対照表（添付）  
九州支部 2006 収支予算書（添付）  
九州支部 2007 収支予算書（添付）



【 総会 】

3. その他 : 分科会について  
セミナーの開催状況報告

〔日程および場所〕

平成 18 年 9 月 19 日 (火) 熊本大学 (担当 安井 平司)  
 平成 18 年 11 月 11 日 (土) 福岡工業大学 (担当 仙波 卓弥)  
 平成 18 年 11 月 18 日 (土) 福岡工業大学 (担当 仙波 卓弥)  
 平成 18 年 12 月 15 日 (金) 福岡県立飯塚研究開発センター (担当 鈴木 裕)  
 平成 19 年 1 月 12 日 (金) 大分大学 (担当 木下 和久)  
  
 平成 19 年 1 月 25 日 (木) グラフ°サ 中津市 (担当 木下 和久)  
 平成 19 年 1 月 27 日 (土) 熊本大学 (担当 峠 睦)  
 平成 19 年 1 月 29 日 (月) 大分大学 (担当 木下 和久)

■ 本ニュースへのご感想・コメントをぜひお寄せください

精密工学会九州支部事務局宛先 : [jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp](mailto:jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp)

メールアドレス変更・配信停止 : [jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp](mailto:jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp)

九州支部ニュースに関する御意見・御寄稿のお願い  
 支部ニュースに御意見や御寄稿などございましたら、九州支部までお寄せ下さい。

会員御勧誘のお願い  
 学会活性化のために、正会員・学生会員・賛助会員の増加を計画しております。  
 身近な方で精密技術に御関心のある方がいらっしゃいましたら、是非入会をお勧め頂ければ幸いです。  
 入会のしおりは支部にございます。お気軽にご請求下さい。

精密工学会九州支部ニュース 第 13 号 2007 年 1 月発行

発行所 精密工学会 九州支部  
 〒860-8555 熊本市黒髪 2 丁目 39 番 1 号 熊本大学工学部機械システム工学科内  
 TEL / FAX : 096-342-3762 E-mail : [jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp](mailto:jspe9@mech.kumamoto-u.ac.jp)  
 Homepage : <http://kyushu.jspe.or.jp>  
 精密工学会九州支部ホームページにて詳細情報を公開しています。

精密工学会九州支部 2005年度(第45期)庶務報告  
(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

1. 総会・役員会

(1) 総会 期 日：平成17年11月12日(土)  
会 場：鹿児島工業高等専門学校

(2) 商議員会 期 日：平成17年11月12日(土)  
会 場：鹿児島工業高等専門学校

(3) 幹事会 全5回

2. 行 事

(1) 学術講演会 2005年度精密工学会九州支部 鹿児島地方学術講演会  
期 日：平成17年11月12日(土)  
会 場：鹿児島工業高等専門学校  
講演件数：58件

(2) 特別講演会 2005年度精密工学会九州支部 特別講演会  
『難削材の高速・高能率加工を目指して』  
講 師：精密工学会理事・東京工業大学教授 帯川利之氏  
期 日：平成17年11月12日(土)  
会 場：鹿児島工業高等専門学校

(3) 学生発表会 精密工学会九州支部「第6回学生研究発表講演会」  
期 日：平成17年11月12日(土)  
会 場：鹿児島工業高等専門学校  
講演者数：21件

(4) セミナー 2005年度精密工学会九州支部産学官技術交流セミナー  
『高速・高精度加工とそれを支える基盤技術の最新動向』  
期 日：平成18年1月27日(金)  
会 場：福岡工業大学  
協 賛：福岡県・福岡県工業技術センター・佐賀県工業技術センター  
長崎県工業技術センター・熊本県工業技術センター  
宮崎県工業技術センター・沖縄県工業技術センター  
精密工学会九州精密技術研究会  
講 師：日産自動車(株) 戸澤幸一氏  
パナソニックエレクトロニクス(株) 上田修治氏  
安田工業(株) 大坪 寿氏  
(株)不二越 飛弾野文英氏  
オーエスジー(株) 今泉英明氏  
日本タグマシン(株) 今里州一氏  
参加者数：74名

(5) ミニ講習会 宮崎県 平成17年7月7日(木) 鈴木 裕(九州工業大学)  
長崎県 平成17年8月2日(火) 安井平司(熊本大学)

九州支部

支部長： 安井 平司

## 平成17年度（2005年度）収支計算書

平成17年2月1日から平成18年1月31日まで

収 入		支 出	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
支部運営費補助金収入	<b>882,590</b>	人件費	<b>280,000</b>
支部活動運営費（本部）	852,590	アルバイト料等	280,000
地方講演補助金（本部）	30,000	出版費	<b>75,600</b>
秋季大会補助金（本部）		会議・編集費	
補助金収入	<b>0</b>	原稿料	75,600
事務委託収入	<b>0</b>	出版費	
事務委託費		事業費	<b>2,003,690</b>
雑収入	<b>16</b>	学術講演会費	507,290
受取利息	16	講習会・シホジウム費	
その他（複写料）		見学会・セミナー費	831,252
事業収入	<b>1,321,000</b>	共済事業費	
学術講演会（参加費、資料代）	350,000	地域活動費	
見学会・セミナー（会費等）	839,000	講師謝金	
懇親会参加費	132,000	表彰費	
協賛金（他学会等）		資料費	
秋季大会収益金		印刷・通信費	26,830
その他		消耗品費	11,211
特定資産取崩収入	<b>1,001,933</b>	会議・会場費	220,000
引当資産取崩収入	1,001,933	旅費・交通費	101,000
		総会費	44,930
		懇親会・例会費	261,177
		什器・備品費	
		修理費	
		秋季大会費（本部との連携）	
		雑費	
		業務委託費	<b>0</b>
		本部（JSPE事務局）	
		外部	
		雑費	<b>735</b>
		特定資産支出	<b>0</b>
		引当資産支出	
		予備費	<b>0</b>
当期収入合計（A）	<b>3,205,539</b>	当期支出合計（C）	<b>2,360,025</b>
前期繰越収支差額	<b>537,577</b>	当期収支差額（A-C）	<b>845,514</b>
収入合計（B）	<b>3,743,116</b>	次期繰越収支差額（B-C）	<b>1,383,091</b>

九州支部

支部長：安井 平司

**平成17年度（2005年度）貸借対照表**

平成 18 年 1 月 31 日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	<b>1,383,091</b>	流動負債	<b>0</b>
現金		前受金	
預金	1,319,391	預り金	
前払金		仮受金	
仮払金		未払金	
立替金	55,700		
未収金	8,000		
固定資産	<b>3,000,000</b>	固定負債	<b>3,000,000</b>
各種引当預金	3,000,000	各種引当金	3,000,000
		正味財産 *1	<b>1,383,091</b>
		(うち当期正味財産増加額) *2	845,514
資産の部合計	<b>4,383,091</b>	負債・正味財産の部合計	<b>4,383,091</b>

## &lt; 注記 &gt;

\*1：資産の部合計から流動負債、固定負債を引いた金額を記入

\*2：当期収支計算書の当期収支差額(A-C)の金額を記入

## &lt; 検算 &gt;

「資産の部合計」=「負債・正味財産の部合計」

九州支部

支部長：安井 平司

**平成18年度（2006年度）収支予算書**

平成18年2月1日から平成19年1月31日まで

勘定科目	金額	勘定科目	金額
支部運営費補助金収入	<b>882,590</b>	人件費	<b>300,000</b>
支部活動運営費（本部）	852,590	アルバイト料等	300,000
地方講演補助金（本部）	30,000	出版費	<b>80,000</b>
秋季大会補助金（本部）		出版費	80,000
補助金収入	<b>0</b>	会議・編集費	
事務委託収入	<b>0</b>	原稿料	
事務委託費		事業費	<b>1,190,000</b>
雑収入	<b>50</b>	学術講演会費	500,000
受取利息	50	講習会・シホ <sup>レ</sup> ジ <sup>レ</sup> ム費	
その他		見学会・セミナー費	200,000
事業収入	<b>500,000</b>	共済事業費	
学術講演会（参加費、資料代）	150,000	地域活動費	
見学会・セミナー（会費等）	250,000	講師謝金	
懇親会参加費	100,000	表彰費	
協賛金（他学会等）		資料費	
秋季大会収益金		印刷・通信費	30,000
立替払		消耗品費	50,000
その他		会議・会場費	200,000
特定資産取崩収入	<b>0</b>	旅費・交通費	
引当資産取崩収入		総会費	100,000
		懇親会・例会費	100,000
		什器・備品費	
		修理費	
		秋季大会費（本部との連携）	
		雑費	10,000
		業務委託費	<b>0</b>
		本部（JSPE事務局）	
		外部	
		雑費	<b>1,000</b>
		特定資産支出	<b>0</b>
		引当資産支出	
		予備費	<b>0</b>
当期収入合計（A）	<b>1,382,640</b>	当期支出合計（C）	<b>1,571,000</b>
前期繰越収支差額	<b>1,375,091</b>	当期収支差額（A-C）	<b>188,360</b>
収入合計（B）	<b>2,757,731</b>	次期繰越収支差額（B-C）	<b>1,186,731</b>

九州支部

支部長：鈴木 裕

**平成19年度（2007年度）収支予算書**

平成19年2月1日から平成20年1月31日まで

勘定科目	金額	勘定科目	金額
支部運営費補助金収入	<b>899,138</b>	人件費	<b>400,000</b>
支部活動運営費（本部）	869,138	アルバイト料等	400,000
地方講演補助金（本部）	30,000	出版費	<b>70,000</b>
秋季大会補助金（本部）		出版費	70,000
補助金収入	<b>0</b>	会議・編集費	
事務委託収入	<b>0</b>	原稿料	
事務委託費		事業費	<b>1,620,000</b>
雑収入	<b>50</b>	学術講演会費	500,000
受取利息	50	講習会・シポジウム費	
その他		見学会・セミナー費	600,000
事業収入	<b>1,300,000</b>	共済事業費	
学術講演会（参加費、資料代）	150,000	地域活動費	
見学会・セミナー（会費等）	1,050,000	講師謝金	
懇親会参加費	100,000	表彰費	
協賛金（他学会等）		資料費	
秋季大会収益金		印刷・通信費	30,000
立替払		消耗品費	50,000
その他		会議・会場費	170,000
特定資産取崩収入	<b>0</b>	旅費・交通費	60,000
引当資産取崩収入		総会費	100,000
		懇親会・例会費	100,000
		什器・備品費	
		修理費	
		秋季大会費（本部との連携）	
		雑費	10,000
		業務委託費	<b>0</b>
		本部（JSPE事務局）	
		外部	
		雑費	<b>1,000</b>
		特定資産支出	<b>0</b>
		引当資産支出	
		予備費	<b>0</b>
当期収入合計（A）	<b>2,199,188</b>	当期支出合計（C）	<b>2,091,000</b>
前期繰越収支差額	<b>1,186,731</b>	当期収支差額（A-C）	<b>108,188</b>
収入合計（B）	<b>3,385,919</b>	次期繰越収支差額（B-C）	<b>1,294,919</b>

**（注）前期繰越収支差額の記入について**

- ・前期繰越収支差額は2006年度予算書に記載されている  
次期繰越収支差額(B-C)を仮記入して下さい。
- ・本来は、当年度決算書の次期繰越収支差額(B-C)を記入しますが、現時点ではこの数字は確定していません、記入することが出来ません。